

SONY®

ビデオプレゼンテーションスタンド
VIDEO PRESENTATION STAND

VID-P100

目次

はじめに	4
本機の特長	4
システム構成例	7
各部の名称	9
準備と設置	11
使用上のご注意	11
設置する	11
接続する	13
本機を使い終わったら	15
操作	16
基本操作	16
応用操作	19
本機を外部から制御する	24
主な仕様	25
保証書とアフターサービス	27

はじめに

ビデオプレゼンテーションスタンド VID-P100 をお使いになると、通常の文書、OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用シート、スライド、ネガフィルムなどの視覚教材や立体物等の資料を、カラーカメラを通してモニターテレビやプロジェクターに映し出せます。

本機の特長

接続が簡単

カメラ、レンズ、照明、電源をすべて内蔵しているので、モニターテレビを接続するだけで教材や資料を映し出せます。

きれいな映像

38万画素（有効）の1/3インチCCD撮像素子を使用しているので、水平解像度420本と小型ながらも鮮明な映像を映し出せます。また、S映像出力端子を装備していますので、S映像入力端子付きのモニターテレビやプロジェクターに接続すると、より解像度の高い映像を実現できます。

各種調整が簡単

フォーカス、絞り、ホワイトバランスが、常に自動的に調整されます。これらの調整値を好みに合わせて変更することもできます。

すばやいオートフォーカス

レンズにはインナーフォーカスレンズを採用していますので、追従性に優れ、すばやいオートフォーカスが実現できます。

10倍ズームレンズ

10倍電動ズームレンズを装備しているので、フィルムサイズから310x235mmまでの資料を画面いっぱいに映し出せます。

第1章

取り扱い説明

取扱説明書をそのまま記載しています。



カメラの方向切り換えが簡単

カメラ部を上90度に変更した(フリップアップ)後、左右上下に動かせるので、壁の資料や室内の様子、自分自身も映し出せます。

クローズアップレンズの着脱が簡単

カメラをフリップアップした際、ずらすだけでクローズアップレンズの着脱が行なえます。

豊富な被写体

普通紙やOHPシートだけでなく、スライド、ネガフィルムや立体物も映せます。ネガフィルムをご使用の場合は、簡単なボタン操作でネガフィルム用の照明(バックライト)への切り換えやホワイトバランスの切り換えを自動的に行なえます。

内蔵バックライト

バックライトを内蔵しているので、OHPシートやスライド、ネガフィルムをきれいに映し出せます。ボタンを押すだけで、通常のアームライトと簡単に切り換えられます。

ビデオセレクトー内蔵

本機はビデオセレクトーを内蔵していますので、本機の映像と外部入力に接続したVTRやレーザーディスク等の映像を、お手元で簡単に切り換えることができます。

マイクミキシング機能

お手持ちのマイクを接続して、スピーカー付きのテレビなどに接続すれば、音声も同時に出力できます。また、外部入力とのミキシングができますので、VTRなど外部入力の映像を表示しながらマイクでコメントを入れることができます。

はじめに

外部制御が可能

RS-232C インターフェースを備えていますので、コンピューターを接続して外部から本機を制御することが可能です。使用コマンドなどの外部制御についての詳細は、別冊の「インターフェースマニュアル」をご覧ください。

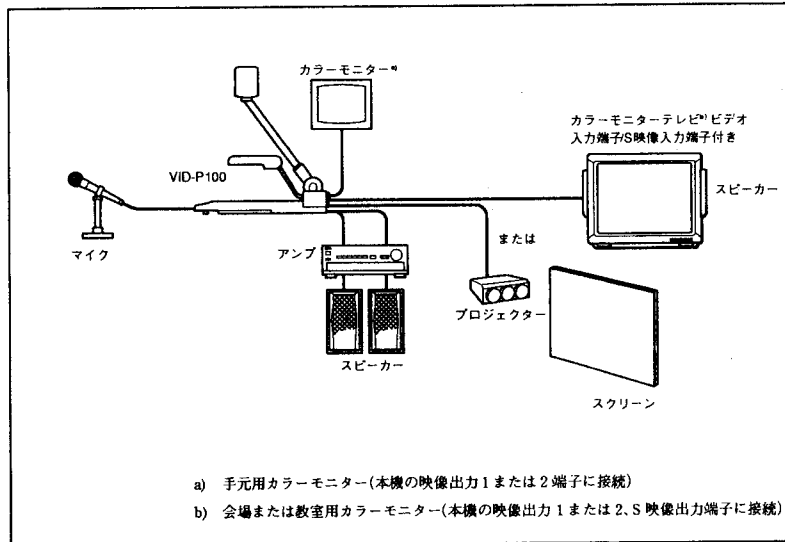
移動が容易

簡単に折り畳め、約7.8kgと軽量なので、手軽に持ち運ぶことができ、どこでも容易に資料の提示ができます。

システム構成例

基本システム

本機を使用したプレゼンテーションや教材提示を行なうための基本システムは、次のとおりです。



基本システム

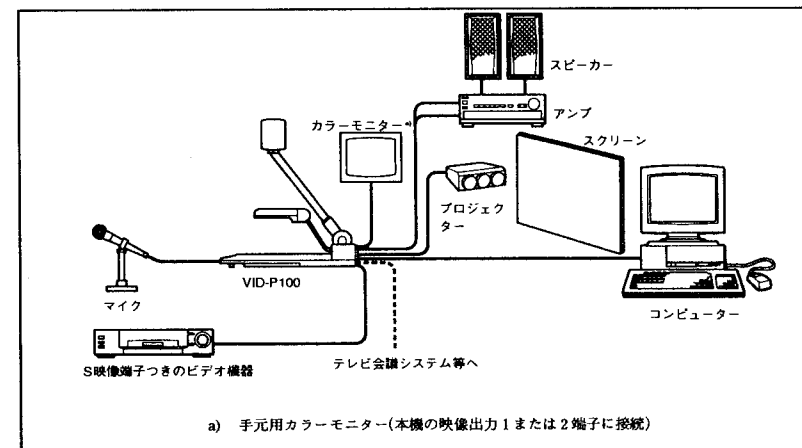
はじめに

応用システム

コンピューターを本機の RS-232C コネクターに接続して、コンピューターから本機を制御したり、外部入力に VTR やレーザーディスクプレイヤーなどのビデオ機器を接続して、本機との映像と切り換えて表示したりできます。

注意

コンピューターを接続して外部から本機を制御する場合は、専用のソフトウェアが必要です。ソフトウェアの作成については、別冊の「インターフェースマニュアル」を参照してください。

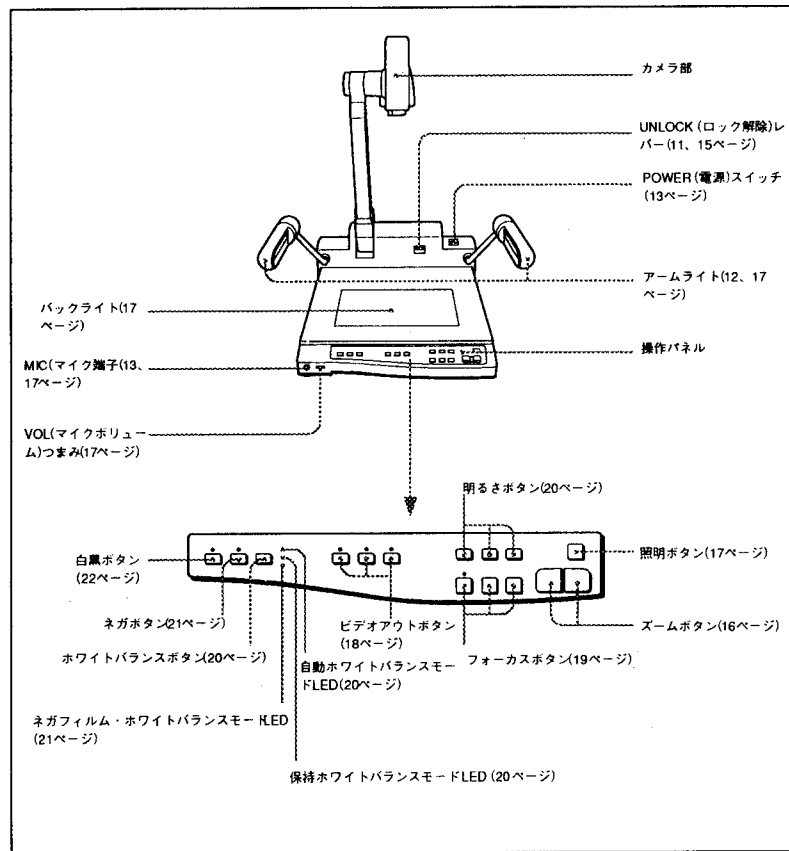


外部制御システム

各部の名称

本機の各部の名称は、次のとおりです。各部の詳細い説明については、()内の参照ページをご覧ください。

カメラ部と操作パネル

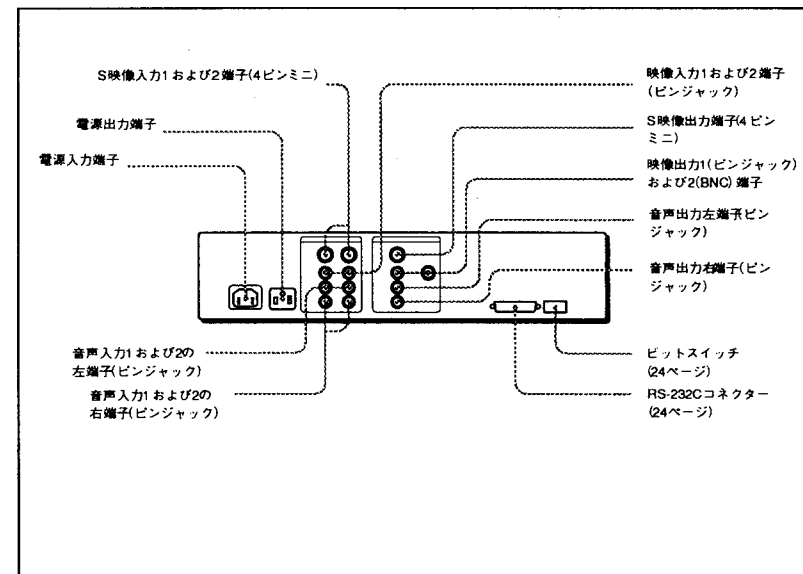


カメラ部と操作パネル

各部の名称

裏面パネル

端子の説明については、13ページをご覧ください。



裏面パネル

準備と設置

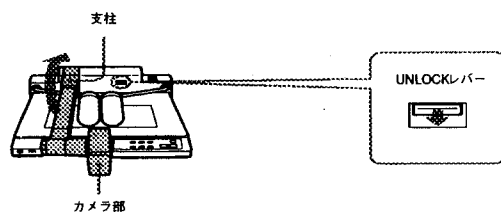
使用上の注意

- ・使用中は照明用の蛍光灯が熱くなりますので、直接手を触れないように気をつけてください。使用後に折り畳む際は、特に注意してください。
- ・本体表面が汚れたら、薄い中性洗剤溶液に浸した布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどをお使いになると表面の仕上げを傷めますので、使用しないでください。
- ・レンズが汚れた場合は、刷毛または柔らかい布で表面を傷つけないように拭いてください。
- ・蛍光灯がちらついたり、暗くなったときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

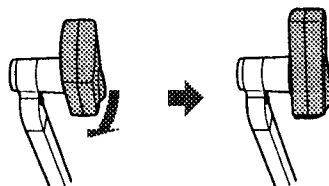
設置する

本機は折り畳まれた状態で梱包されています。梱包用のパッケージから取り出したら、まず通常の操作状態に設置してください。

- 1** UNLOCK レバーを下に倒しながら、カメラ部ごと支柱を上方向に固定するまで持ち上げます。

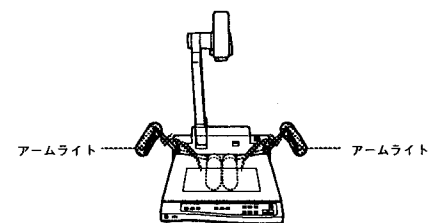


- 2** カメラ部のレンズがまっすぐ下を向くように、カメラ部ごと矢印の方向に動かします。



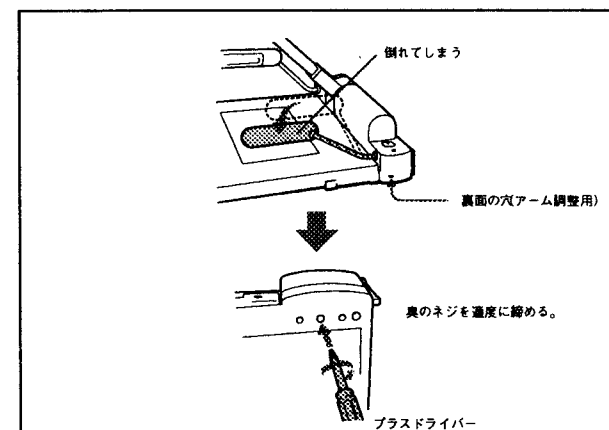
準備と設置

- 3** アームライトを2つとも所定の位置に設定します。



アームライトのアームがゆるんだら

アームライトを持ち上げても固定せずに倒れてしまう場合は、アームを固定している裏面のネジがゆるんでいます。POWER スイッチを切ってから、次の操作手順に従ってネジを締めてください。



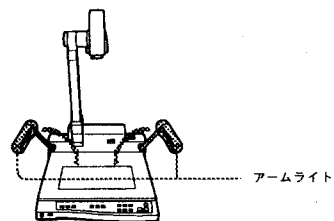
アームのネジを締める



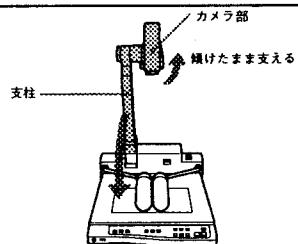
本機を使い終わったら

移動の際などに本機を折り畳んで、しまうには、次のように操作します。

- 1 アームライトを2つとも畳みます。



- 2 カメラ部を支柱の方へ傾けた状態で、支柱を操作パネル側へ畳みます。このとき、支柱は自動的にロックされます。ロックを外して、また操作を行なう場合は「設置する」(11ページ)をご覧ください。



操作

ここでは、通常の資料等を映し出すための基本操作と、ネガフィルムなどの特殊な被写体を映すための応用操作、コンピュータから制御するための操作について説明します。

基本操作

本機では、電源投入後、アームライトが点灯し、被写体のフォーカス(ピント合わせ)、絞り(明るさ)、ホワイトバランス(色合い)が自動的に調整されます。

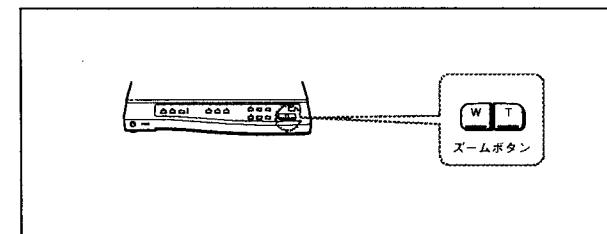
通常の資料を映し出す場合は、画面上の被写体の大きさを調整する(ズームの調整)だけで結構です。

ズームを調整する

提示物を拡大(ズームイン)したり縮小(ズームアウト)したりするには、操作パネルのズームボタンを使用します。軽く押すと徐々に、強く押すと速くズームインまたはズームアウトします。

提示物を徐々に縮小していくには、W側(広角)を押します。

提示物を徐々に拡大するには、T側(望遠)を押します。

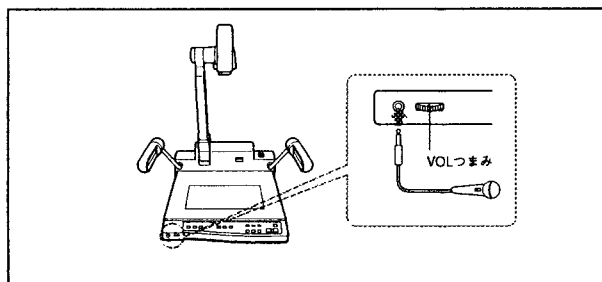


ズーム調整



マイクの音量を調節する

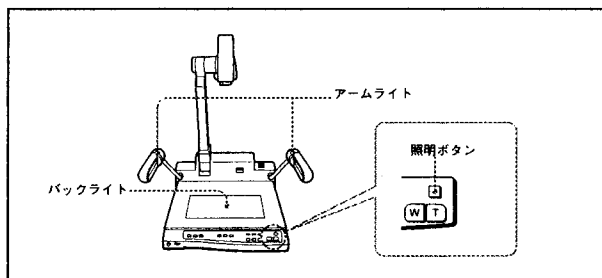
マイクロホンを接続してあるときは、本機の前面にあるVOLつまみで、マイクロホンの音量を調節します。つまみを右に回すと音量は大きくなり、左に回すと小さくなります。



マイクの音量調節

照明を切り換える(アームライトとバックライト)

本機では電源を投入すると、アームライトが自動的に点灯します。OHP シートやスライドなどの透明な被写体を映す場合は、操作パネルの照明ボタンを押してアームライトからバックライトに切り換えてください。なお、バックライトが点灯した時点でもう一度照明ボタンを押すと、バックライトは消えます。再度、照明ボタンを押すと、アームライトが点灯します。



照明を切り換える

操作

映像を切り換える

本機のカメラ部からの映像信号とマイクからの音声信号を含めて、どの映像および音声信号を出力するかを、操作パネルのビデオアウトボタンで切り換えることができます。

本機のカメラで撮った映像とマイクからの音声を出力するには

電源投入時には、VID ボタンのランプが点灯し、自動的に本機のカメラ部からの映像信号と MIC 端子に接続したマイクからの音声信号が出力されます。

裏面の映像/音声入力端子からの信号に切り換えている場合は、VID ボタンを押します。

S 映像入力1 端子または映像入力1 端子からの映像と音声入力1 の左右端子からの音声を出力するには

ビデオ 1 ボタンを押します。

ビデオ 1 ボタンのランプが点灯し、S 映像入力 1 端子または映像入力 1 端子の映像と 音声入力 1 の左右端子の音声出力されます。音声にはマイクの音声がミキシングされて出力されます。

図 1-14

S 映像入力 1 端子および映像入力 1 端子の両方に信号が入力されている場合は、S 映像入力 1 端子に接続されている信号が優先されて出力されます。

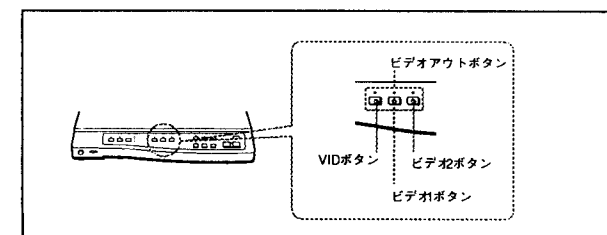
S 映像入力2 端子または映像入力2 端子からの映像と音声入力2 の左右端子からの音声を出力するには

ビデオ 2 ボタンを押します。

ビデオ 2 ボタンのランプが点灯し、S 映像入力 2 端子または映像入力 2 端子の映像と 音声入力 2 の左右端子の音声出力されます。音声にはマイクの音声がミキシングされて出力されます。

図 1-15

S 映像入力 2 端子および映像入力 2 端子の両方に信号が入力されている場合は、S 映像入力 2 端子に接続されている信号が優先されて出力されます。



ビデオ入力の切り換え

応用操作

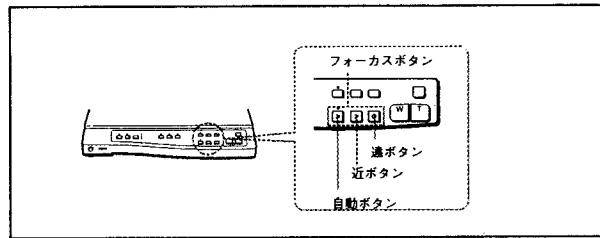
より好みにあった画像を映す

本機では、電源投入後、被写体を画面の中央に合わせると、フォーカス、絞り、ホワイトバランスが自動的に調整されますが、好みに合わせて手動で調整することもできます。

フォーカスを調整するには

操作パネルのフォーカスボタンで調整します。遠ボタンを押すと遠くにピントが合い、近ボタンを押すと近くに合います。次のような場合に、手動でピントを合わせてください。

- ・明暗の差が少ない資料の場合
- ・立体物を映す場合



フォーカスの調整

自動フォーカス調整に戻すには

自動ボタンを押してランプを点灯させます。

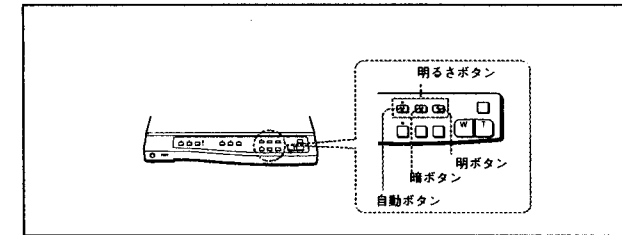
操作

被写体の明るさを調整する(アイリスの調整)には

被写体の明るさ(絞り)を調整するには、操作パネルの明るさボタンを使用します。暗ボタンを押すと暗くなり、明ボタンを押すと明るくなります。

次のような場合に、手動で明るさを調整してください。

- ・被写体が光を反射してしまい、白い部分が多い場合
- ・資料のコントラストを正確に出したい場合
- ・ネガの色が薄い場合



明るさを調整する

明るさの自動調整モードに戻すには

自動ボタンを押して、ランプを点灯させます。

色合い(ホワイトバランス)を保持する

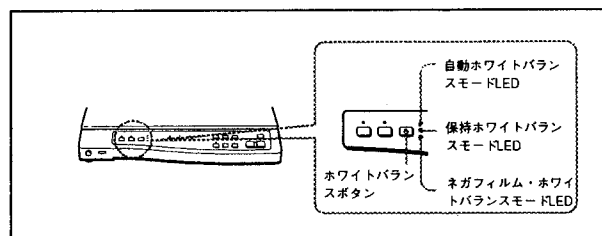
本機では、通常自動的にホワイトバランスが調整されますが、保持モードを使用すると、その直前の自動調整で調整された条件のまま、被写体やまわりの照明条件に左右されずに、そのまゝの色を自然に出せます。

ホワイトバランスの設定モードは、ホワイトバランスボタンを押すたびに、自動→保持→ネガの順で切り換わり、対応するLEDが点灯します。ホワイトバランスを保持するには、ホワイトバランスボタンを押して保持ホワイトバランスモードLEDを点灯させます。ボタンを押す直前の、自動的に調整されていたホワイトバランスが保持されます。

次のような場合に、ホワイトバランスを保持して使用してください。

- ・単一色の被写体や背景を映す場合
- ・淡い色を自然に出したい場合

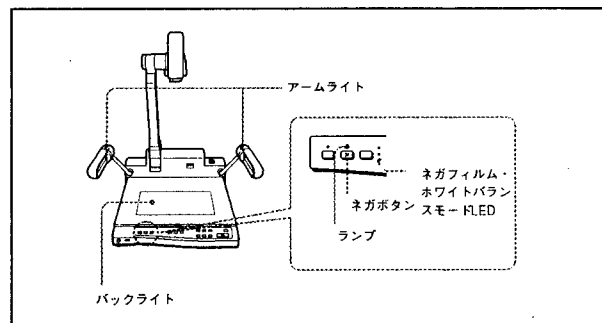




色合いを自然に出す

ネガフィルムを映す

電源投入時に、本機は自動的に通常の資料を映すように設定されています。ネガフィルムを映すには、操作パネルのネガボタンを使用します。ネガボタンを押すと、ランプが点灯してネガフィルム用のモードになったことを示します。アームライトが消えて、ネガフィルムに備えてバックライトが点灯します。ホワイトバランスも自動的にネガフィルム用(3200K)に切り換わり、ネガフィルム・ホワイトバランスモードLEDが点灯します。



ネガフィルムを映す

通常の資料を映すには

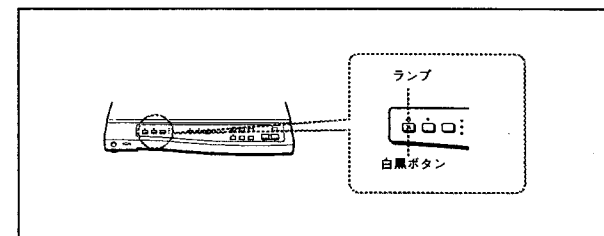
ネガボタンのランプが点灯しているときに、ネガボタンを押します。ホワイトバランスは自動モードに切り換わります。ただし、照明は切り換わりませんので必要に応じて照明ボタンで切り換えてください。

操作

画面を白黒にする

画面を白黒にするには、白黒ボタンを押します。ランプが点灯し、画面が白黒モードになったことを表します。次のような場合に、画面を白黒にしてください。

- ・白黒の文書や白黒フィルムなど、もともと白黒の被写体を映す場合
- ・カラーの資料を白黒にする場合



画面を白黒表示にする

注意

新聞の記事などの細かい模様などを写す場合は、画面にちらちら色が出ることがあります。このような場合は、画面を白黒モードに変更するか、モニターをS映像出力端子につないで使用してください。

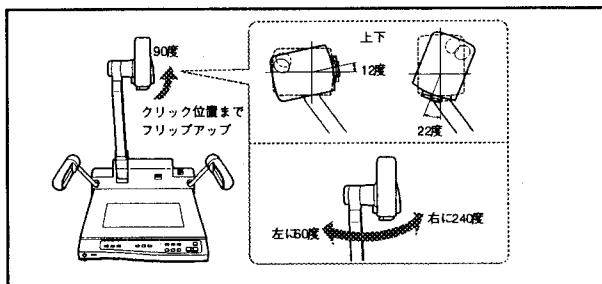
画面をカラーに戻すには

白黒ボタンをもう一度押します。ボタンのランプが消え、画面は通常のカラーに戻ります。

カメラの方向を変える

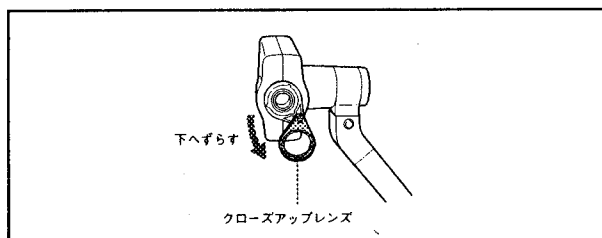
本機のカメラ部は、通常の資料などを映す位置から向きを上へ回転させて（フリップアップ）、さらに上下左右に位置を変えて使用できます。生徒や会議の出席者や自分自身を撮影して、モニターやプロジェクターに映し出し、会議の雰囲気などを伝えたりするのに役に立ちます。

なお、遠くを撮る場合は、カメラのクローズアップレンズを外します。



カメラの方向を変える

クローズアップレンズを外すには

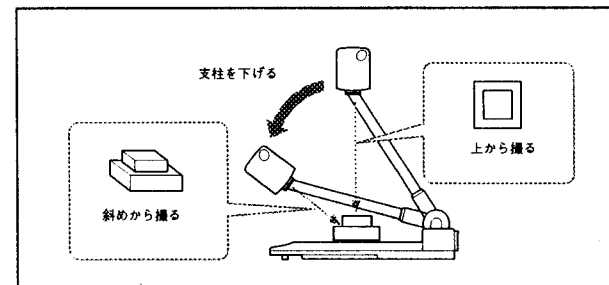


クローズアップレンズを外す

操作

立体物を映すには

さらに、立体物を映す場合は、支柱を下げて立体物を斜めから撮ることもできます。

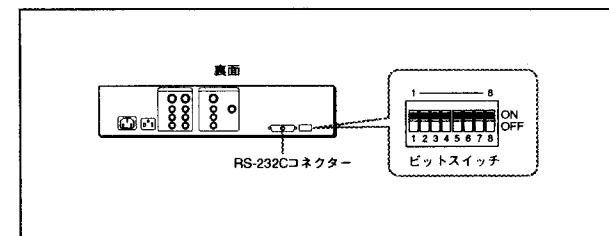


立体物を映す

本機を外部から制御する

本機の裏面にあるRS-232C コネクターにコンピューターを接続して、本機を制御することができます。本機を制御するソフトウェアを作成するための通信プロトコル等の詳しい内容については、別冊の「インターフェースマニュアル」をご覧ください。

本機をコンピューターから制御する際には、裏面にあるビットスイッチを必要に応じて設定してください。詳しい内容については、別冊の「インターフェースマニュアル」をご覧ください。



主な仕様

カラー方式	NTSC方式
撮像素子	1/3インチインターライン転送方式CCD
解像度	水平: 420TV本
有効画素数	38万画素、768 × 494 (水平 × 垂直)
撮影領域	最大 310 × 235 mm、最小 34 × 25.5 mm
レンズ	10倍ズームレンズ f = 6.2～62 mm 口径比 F1.6～2.9
ズーム	電動
フォーカス	自動/手動切り換え
アイリス	自動/手動切り換え
ホワイトバランス	自動/手動切り換え
ポジフィルム/ネガフィルム切り換え機能	内蔵
白黒/カラー選択機能	内蔵
出力選択	3系統(VID/ビデオ1/ビデオ2)
照明	アームライト: 9W ツインタイプ蛍光灯×2 バックライト: 8W 蛍光灯×2
入力	映像入力(ピンジャック12) 1Vpp、75Ω、同期負 S映像入力(4ピンミニジャック12) Y: 1Vpp、75Ω、同期負 C: 0.286Vpp、75Ω 音声入力(ピンジャック12) 入力インピーダンス 47kΩ レベル: -10dB、不平衡 MIC(標準ジャック11) 入力インピーダンス 3.3kΩ レベル: -60dB、不平衡
出力	映像出力(ピンジャック11) 1Vpp、75Ω、同期負 映像出力(BNC端子)(1) 1Vpp、75Ω、同期負 S映像出力(4ピンミニジャック11) Y: 1Vpp、75Ω、同期負 C: 0.286Vpp、75Ω 音声出力(ピンジャック11) 出力インピーダンス 600Ω以下 レベル: -10dB、不平衡

電源出力(補助電源コンセント)

非連動、最大 300W

RS-232C コネクター	D-Sub 25ピン
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	30W
寸法	約446×190×720mm(幅/高さ/奥行き)(折り畳み時) 約572×684×620mm(幅/高さ/奥行き)
質量	約 7.8kg
付属品	AC 電源コード(1) 取扱説明書(1) インターフェースマニュアル(1) 保証書(1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

Table of Contents

Introduction	4
Features	4
System Configuration	6
Parts Identification	8
Preparation	10
Precautions	10
Setting Up the Unit	10
Connecting the Unit to Other Equipment	12
Collapsing the Unit	14
Operation	15
Basic Operation	15
Advanced Operation	18
Controlling the VID-P100 from a Computer	23
Specifications	24

Introduction

The VID-P100 Video Presentation Stand allows you to display visual materials such as paper-based documents, transparent sheets, slides, film negatives, and solid objects on a color monitor or projector by shooting them with a color video camera.

Features

The VID-P100 has the following features.

Easy to Connect

Visuals can be displayed by simply connecting a color monitor because the camera, lens, light, and power supply are all incorporated in the one unit.

Sharp Screen

383,000 (for the NTSC model) or 443,000 (for the PAL model) pixels of the 1/3-inch CCD pickup device allows 420 TV lines of horizontal resolution, giving a high screen resolution. An S VIDEO OUT connector allows you to connect a monitor equipped with a S VIDEO IN connector, thus giving you even higher screen resolution.

Easy to Adjust

Focus, iris and white balance adjust automatically after power-on. You can also adjust each setting manually depending on the picture to be displayed.

10 x Power Zoom Lens

The 10 x power zoom lens of this unit allows you to display various materials ranging in size from a standard film to a 10" x 14" (310 x 235 mm) sheet on the screen.

Quick Response Auto Focus

As the inner focus lens is used, this unit can correctly adjust focus position just for one or two seconds. This feature allows your smart presentation.

Tilting and Panning Mechanism

By flipping the camera upwards through 90 degrees, you can pan and/or tilt the camera to shoot material pasted on the wall or even yourself.

SECTION 1 OPERATING INSTRUCTION

This section is extracted from
operation manual.

Easily Removable Close-up Lens

After flipping up the camera, you can easily remove the close-up lens with revolving it.

Various Materials Can Be Shot and Displayed

Various materials from paper-based documents and transparent sheets to slides, film negatives and solid objects can be shot and displayed. To shoot and display film negatives, just press the appropriate button to change the lighting and white balance settings.

Built-in Back Light

The built-in back light allows transparent sheets, slides or film negatives to be shot and displayed on a monitor. To use the back light, just press one button.

Built-in Video Selector

A video selector is incorporated in this unit. It allows you to switch the pictures shot with this unit to those from the connected video equipment such as a VTR and laserdisc player and vice versa, and so make impressive presentations.

Sound Mixing Function

You can add a running commentary simply by connecting a microphone and a monitor with speakers. In addition, existing audio signals can be mixed with the audio signal from the microphone connected, so you can add a commentary while displaying video signals via the built-in video selector on a monitor.

External Control from a Computer

An RS-232C interface is provided with this unit. This interface allows the unit to be controlled from an external computer. Refer to the "Interface Manual" for details of the commands for controlling the unit from the computer.

Easy to Transport

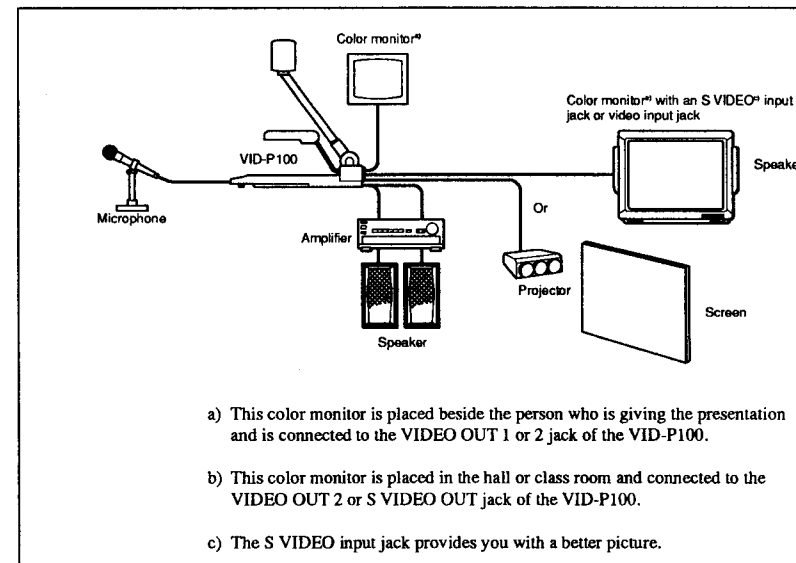
The unit can be collapsed so easily and weights so little (7.8 kg (17 lb 3 oz)) that it can be carried with no trouble, allowing you to make a presentation anywhere.

Introduction(Continued)

System Configuration

Basic Configuration

The basic system for making a presentation or displaying educational materials is as follows:



Basic configuration

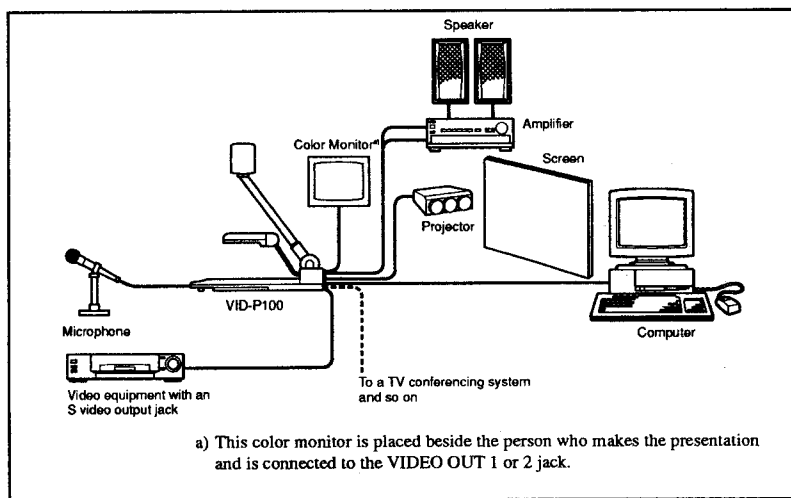
- This color monitor is placed beside the person who is giving the presentation and is connected to the VIDEO OUT 1 or 2 jack of the VID-P100.
- This color monitor is placed in the hall or class room and connected to the VIDEO OUT 2 or S VIDEO OUT jack of the VID-P100.
- The S VIDEO input jack provides you with a better picture.

Advanced System

When you connect a computer to the RS-232C connector of the VID-P100, you can control the VID-P100 from the computer. When you connect video equipment such as a VTR and a laserdisc player to this unit, you can switch the picture shot with this unit and that from the connected video equipment, and vice versa.

Note

When you control the VID-P100 from a computer, special software is required. To program in this software, refer to the "Interface Manual".

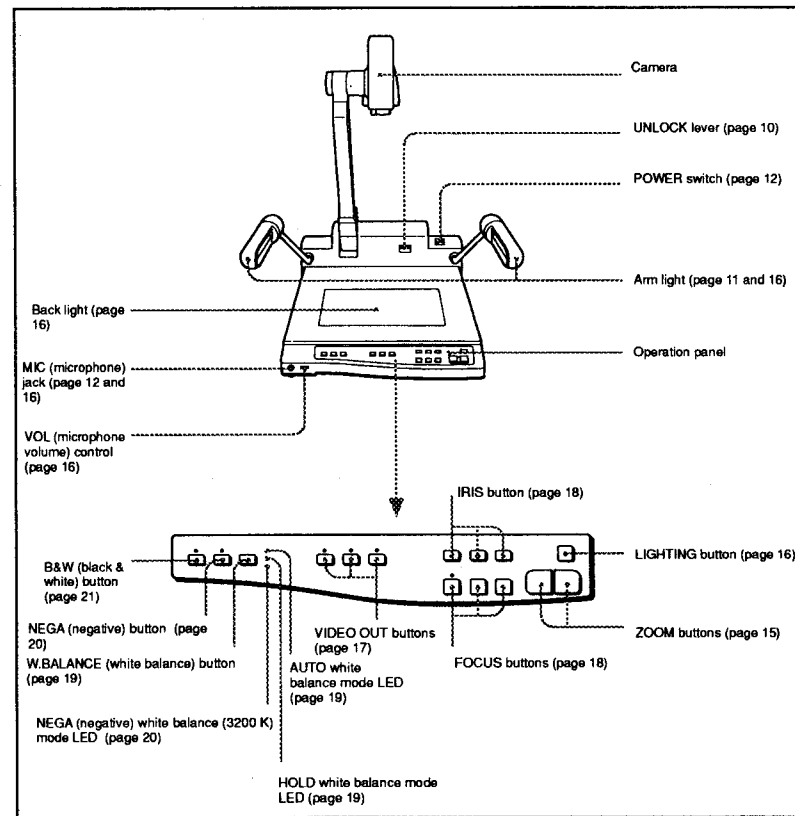


Advanced system

Parts Identification

For details on the use of each part, see the pages indicated in parentheses.

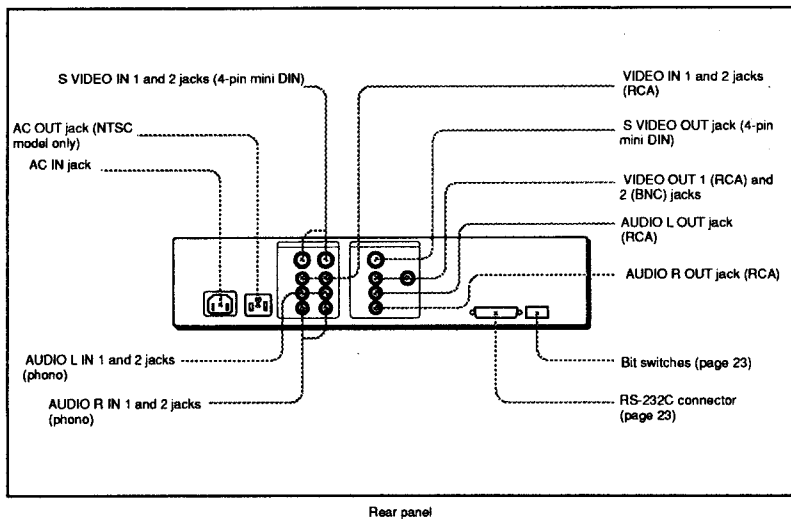
Camera and Operation Panel



Camera and operation panel

Rear Panel

For details on the use of the jacks, see page 12.



Preparation

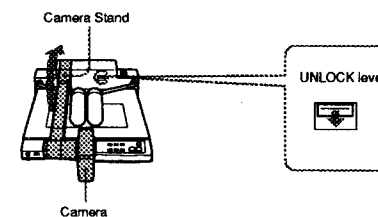
Precautions

- Unplug the VID-P100 from the wall outlet when it is not being used for a long period of time. To disconnect the cord, pull it out by grasping the plug. Never pull it out by the cord itself.
- The fluorescent lamps can get hot during operation. **Do not touch the lamps during operation** and when collapsing the VID-P100.
- Clean the lens with an air spray or soft dry cloth, taking care not to scratch it.
- Clean the cabinet with a soft cloth lightly moistened with a mild detergent solution. Never use any type of solvent such as alcohol or benzene, which might damage the finish.
- When the fluorescent lamps flash or get darkened, contact your Sony dealer.

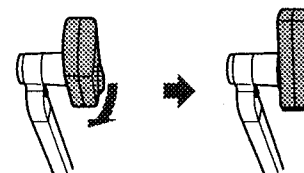
Setting Up the Unit

The VID-P100 is packed in a collapsed form at the factory. After taking it out of the package, set it up for normal operation.

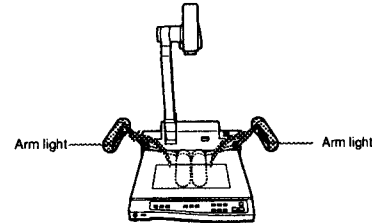
- 1 Lift up the camera stand with the camera attached while keeping the UNLOCK lever pressed down.



- 2 Adjust the camera to the direction illustrated by the arrow mark so that the lens faces downwards.

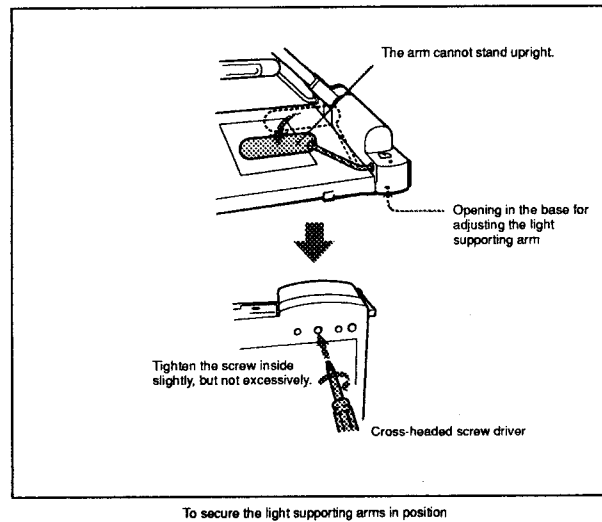


- 3** Adjust both arm lights to their fixed positions respectively.



If the Light Supporting Arms Loosen

If the arms will not stay upright, the screw in the base may have become loosened. After turning off the POWER switch, tighten the screw as shown below.



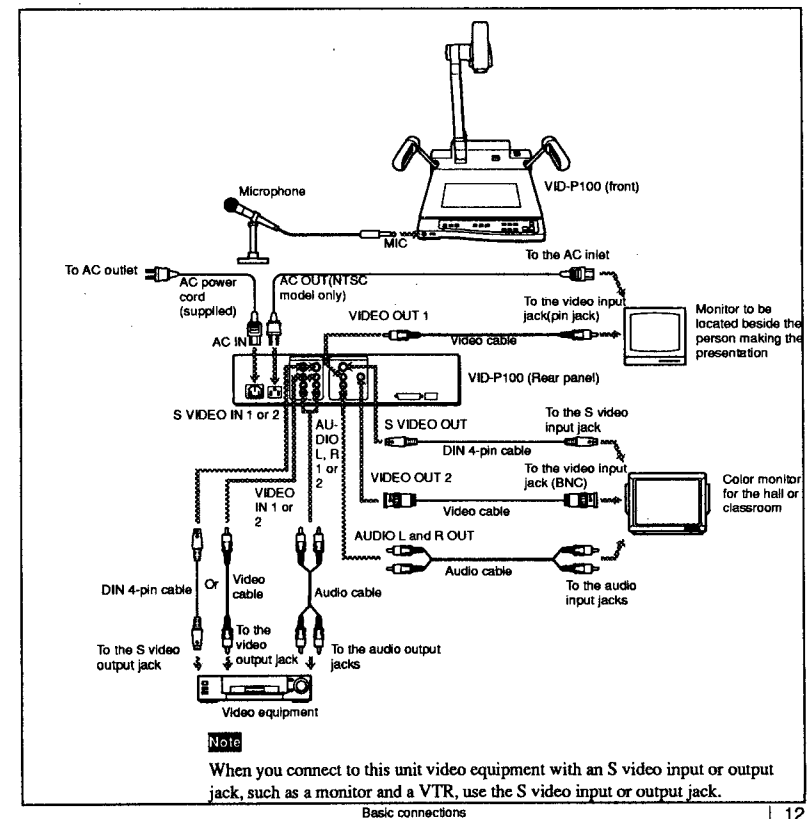
Preparation(Continued)

Connecting the Unit to Other Equipment

Notes on connections

- Before making any connections, turn off the power of the VID-P100 and the equipment to be connected.
- Before connecting a device such as a monitor to the AC OUT jack of the VID-P100, check to see if the power consumption is 300W or less. Do not connect any device whose power consumption is over 300W to the VID-P100.

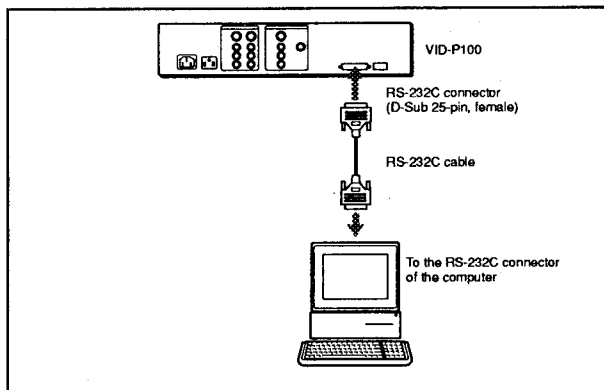
Connections for the Basic System



Basic connections

Connections for External Control from a Computer

After performing the basic connections on the previous page, make the connections listed below to control this unit from the computer connected.



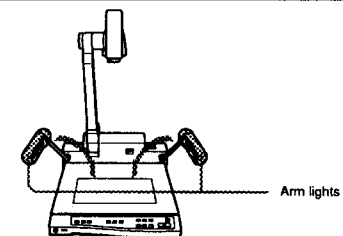
Connection for external control from a computer

Preparation(Continued)

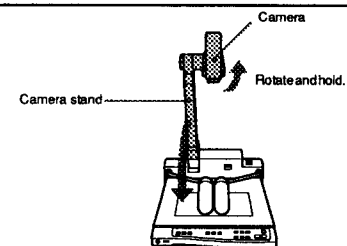
Collapsing the Unit

Follow the instructions below to collapse the VID-P100 for transportation or convenience.

- 1 Fold both arm lights down onto the base.



- 2 Rotate the camera to its original position as illustrated by the arrow mark. Carefully fold down the camera stand together with the camera onto the base slowly. The stand is now locked in place, and cannot be moved. To unlock the stand to enable operation of the VID-P100, see "Setting Up the Unit" on page 10.



Operation

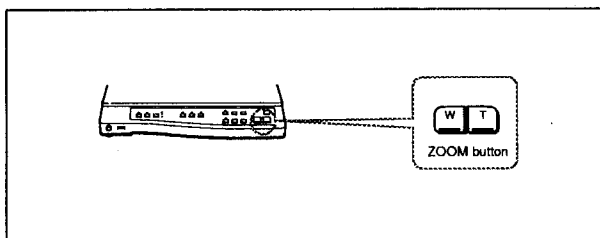
In this section, the basic operation for displaying normal materials, advanced operation for displaying special materials such as film negatives, and the operation for controlling the VID-P100 from a computer are all described.

Basic Operation

At power-on, the VID-P100 automatically turns on the arm lights, adjusts the focus, iris (brightness), and white balance. The only thing to do now is to zoom the image on the screen to display a normal document.

Zooming the Image on the Screen

To zoom into or out from the image on the screen, use the ZOOM button on the operation panel. The VID-P100 offers two levels of speed zooming. Press the button firmly for high speed zooming and softly for slower zooming. To zoom out from the image for panoramic long shots, press the W (wide-angle) button. To zoom into the image for close-ups, press the T (telephoto) button.

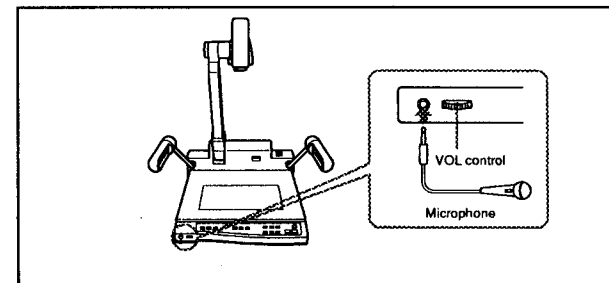


ZOOM adjustments

Operation(Continued)

Adjusting the Microphone Level

Use the VOL control on the front of the VID-P100 to adjust the level of the microphone connected to the MIC jack. Turn it to the right to increase the volume. Turn it to the left to decrease the volume.

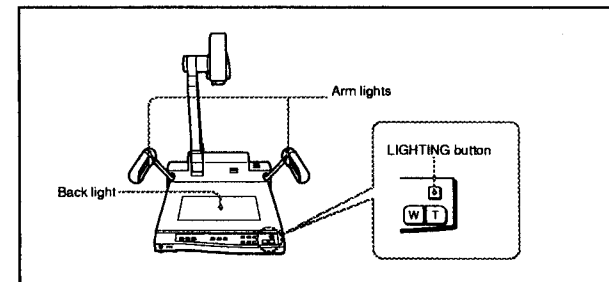


Microphone level adjustments

Switching the Lighting (from the Arm Lights to the Back Light)

The arm lights are automatically turned on at power-on. When shooting and displaying transparencies, press the LIGHTING button to switch the lighting from the arm lights to the back light.

To turn off both the arm lights and the back light, press the LIGHTING button again. Press the LIGHTING button one more time to light the arm lights.



To switch the lighting

Selecting the Signals To Output

The VIDEO OUT button on the operation panel allows you to select the video and audio signals, including those from the camera and the MIC jack of the VID-P100, to output.

To output the video signal from the camera of the VID-P100 and the audio signal from the microphone connected to the MIC jack

At power-on, the VID indicator lights, and the video signal from the camera of the VID-P100 and the audio signal from the microphone connected to the MIC jack are automatically output.

When you select any video signal and audio signal from the input jacks, press the VID button.

To output a signal from the video equipment connected to the S VIDEO IN 1 jack or VIDEO IN 1 jack and the AUDIO L and R IN 1 jacks

Press the VIDEO 1 button. The VIDEO 1 indicator lights, and the video signal from the S VIDEO IN 1 or VIDEO IN 1 jack and the audio signal from the AUDIO L and R IN 1 jacks are output. Note that the audio signal from the connected microphone is also mixed in on this audio signal.

Note

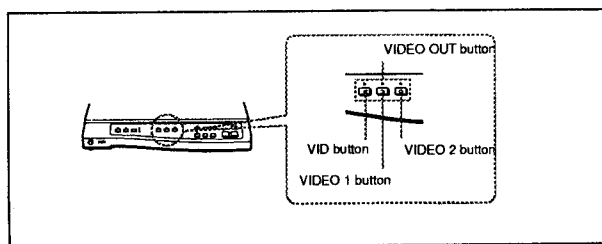
When you connect video equipment to both the S VIDEO IN 1 jack and the VIDEO IN 1 jack, the video signal from the S VIDEO IN 1 jack is automatically output.

To output a signal from the video equipment connected to the S VIDEO IN 2 jack or VIDEO IN 2 jack and the AUDIO L and R IN 2 jacks

Press the VIDEO 2 button. The VIDEO 2 indicator lights, and the video signal from the S VIDEO IN 2 or VIDEO IN 2 jack and the audio signal from the AUDIO L and R IN 2 jacks are output. Note that the audio signal from the connected microphone is also mixed in on this audio signal.

Note

When you connect video equipment to both the S VIDEO IN 2 jack and the VIDEO IN 2 jack, the video signal from the S VIDEO IN 2 jack is automatically output.



To select the signal to output

Operation(Continued)

Advanced Operation

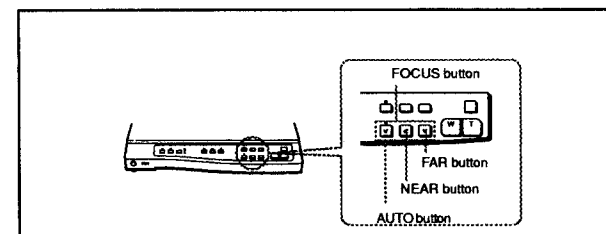
Adjusting the Image to Your Taste

The VID-P100 automatically adjusts the focus, iris and white balance when you turn on the power and set the material to be displayed in the middle of the screen. You can also adjust them yourself manually as you wish.

Adjusting the Focus Manually

Use the FOCUS button on the operation panel for adjusting the focus. To focus the object far away from the VID-P100, press the FAR button. To focus the object near the VID-P100, press the NEAR button. Manually adjust the focus when you display:

- a material whose brightness and darkness are difficult to distinguish, or
- a three-dimensional object.



Focus adjustments

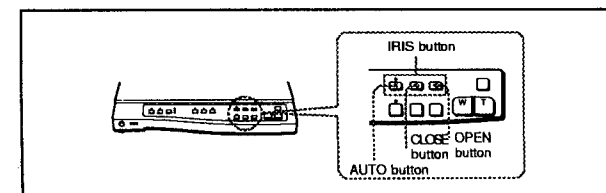
To return to Auto-focus adjustment mode

Press the AUTO button to light the AUTO indicator.

Adjusting the Iris (Brightness) Manually

To adjust the iris (brightness), use the IRIS button on the operation panel. To increase the brightness, press the OPEN button. To decrease the brightness, press the CLOSE button. Manually adjust the iris when you want to display:

- an object which reflects light,
- the contrast appropriately, or
- a pale-colored film negative.



Iris adjustments

To return to Auto-Iris adjustment mode

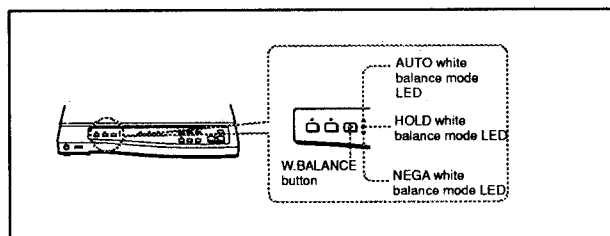
Press the AUTO button to light the AUTO indicator.

Displaying the Natural Color of a Material (Locking the White Balance Setting)

The VID-P100 automatically adjusts the white balance. In Hold mode, it also locks the last automatic white balance setting and maintains it even when the lighting conditions change, thus allowing the color of the material to be displayed naturally.

The mode of the white balance can change from Automatic, to Hold, then Film Negatives and the corresponding LED lights every time the W.BALANCE button is pressed. To hold the white balance setting, press the W.BALANCE button to light the HOLD white balance mode LED. The white balance setting which adjusts immediately before you pressed the button is held. Hold the white balance setting when you display :

- a monochromatic material or background, or
- a pale colored material.



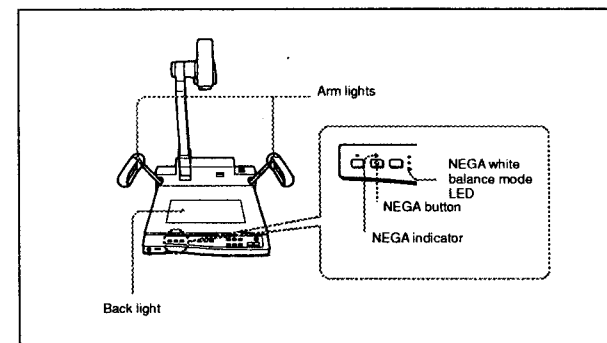
To display the natural color of a material (locking the white balance setting)

To adjust the white balance automatically

Continue pressing the W.BALANCE button until the AUTO white balance mode LED lights.

Operation(Continued)**Displaying Film Negatives**

The VID-P100 is automatically set to display normal materials on the screen at power-on. Press the NEGA button on the operation panel to display film negatives. The NEGA indicator above the button lights to indicate that the VID-P100 has entered Film Negative mode. At the same time, the arm lights go off, and the back light lights. The white balance is adjusted for film negatives (3200K), and the NEGA white balance mode LED lights.



Displaying film negatives

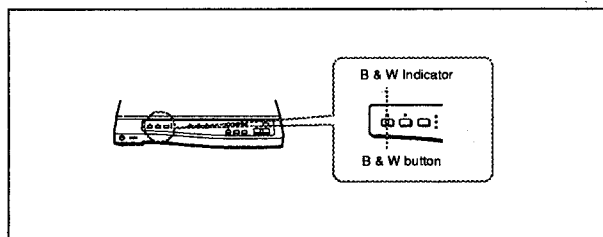
To display normal material on the screen

Press the NEGA button when the NEGA indicator is lighting. The white balance mode is set to "AUTO" and the AUTO indicator lights to confirm that the white balance is now being adjusted automatically. The back light, however, remains lit, so press the LIGHTING button twice to light the arm lights.

Setting the Screen in Monochrome Mode

To set the screen in monochrome mode, press the B&W button. The indicator above the B&W button lights to indicate that the screen is now set in Monochrome mode. Set the screen in Monochrome mode when:

- you display black and white material such as a black and white document or a black and white film, or
- you display a color material in black and white.



To set the screen in monochrome mode

Note

If you shoot and display a finite pattern such as a column of newsprint, a few colored dots may still flicker. In this case, set the screen to Monochrome mode or connect a monitor via the S VIDEO OUT jack.

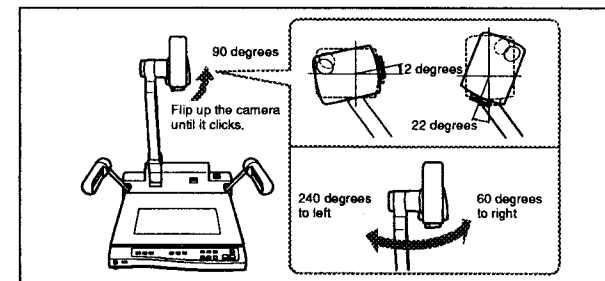
To set the screen in color mode

Press the B&W button again. The B & W indicator goes off and the screen is once more set to color mode.

Operation(Continued)

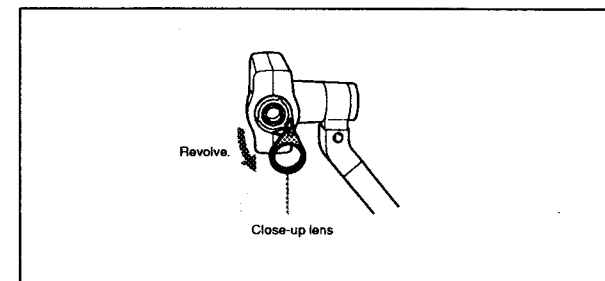
Changing the Camera Direction

The VID-P100 allows you to flip up the camera, and move it from left to right, or up and down. Therefore, you can shoot and display the audience, students, or even yourself. To shoot an object far away from the VID-P100 itself, remove the close-up lens.



Changing the camera direction

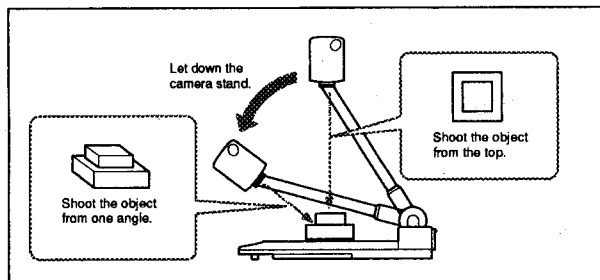
To remove the close-up lens



To remove the close-up lens

To shoot a three-dimensional object

To shoot and display a three-dimensional object, let down the camera stand. You can also shoot it from one angle.



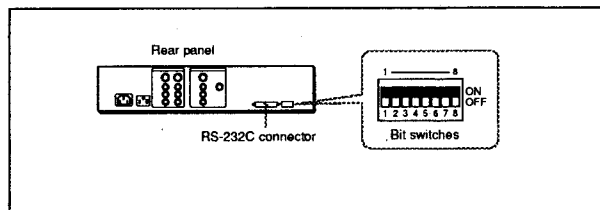
To shoot a three-dimensional object

Controlling the VID-P100 from a Computer

You can control the VID-P100 from a computer connected by an RS-232C connector. However, the software to control the VID-P100 must first be installed. Refer to the "Interface Manual" for details on the communication protocol for this software.

Set the bit switches on the rear panel, if necessary, to control the VID-P100 from a computer.

Refer to the "Interface Manual" for how to set the bit switches.



To control the unit from a computer

Specifications

Color system	NTSC or PAL color system
Pickup device	1/3" interline transfer method, CCD (Charge Coupled Device)
Resolution	Horizontal: 420 TV lines
Picture elements	383,000, 768 x 494 (H/V)(NTSC model) 443,000, 752 x 582 (PAL model)
Filming range	310 x 235 mm (at wide-angle) 34 x 25.5 mm (at telephoto)
Lens	10 x power zoom lens f = 6.2 to 62 mm (1/4 to 2 1/2 inches) F = 1.6 to 2.9
Focus	Auto/manual selectable
Iris	Auto/manual selectable
White balance	Auto/manual selectable
Positive/negative film selection function	Built-in
Monochrome/color selection function	Built-in
Output signal selectable	Three (VID/VIDEO1/VIDEO2)
Light	Arm light: 9W twin-fluorescent lamp x 2 Back light: 8W fluorescent lamp x 2
Input jack	VIDEO IN (RCA jack) (2) 1 Vp-p, 75 Ω , sync negative S VIDEO IN (4-pin mini DIN) (2) Y: 1 Vp-p, 75 Ω , sync negative C: 0.286 Vp-p, 75 Ω (NTSC model), 0.300 Vp-p, 75 Ω (PAL model) AUDIO IN (RCA jack) (2) Input impedance: 47 k Ω Level: -10 dBs, unbalanced MIC (standard jack) (1) Input impedance: 3.3 k Ω Level: -60 dBs, unbalanced
Output jack	VIDEO OUT (RCA jack) (1) 1 Vp-p, 75 Ω , sync negative VIDEO OUT (BNC) (1) 1 Vp-p, 75 Ω , sync negative S VIDEO OUT (4-pin mini DIN) (1) Y: 1 Vp-p, 75 Ω , sync negative C: 0.286 Vp-p, 75 Ω (NTSC model), 0.300 Vp-p, 75 Ω (PAL model) AUDIO OUT (RCA jack) (1) Output impedance: less than 600 Ω Level: -10 dBs, unbalanced AC OUT (auxiliary AC outlet) (NTSC model only) unswitched, maximum 300W
RS-232C connector	D-Sub, 25-pin

Power requirements	120 V AC, 50/60 Hz (NTSC model) 230 V AC, 50/60 Hz (PAL model)
Power consumption	30 W (PAL model), 120 V, 0.28A (NTSC model)
Dimensions	After set up: Approximately 572 x 684 x 620 mm (w/ h/d) (22 5/8 x 27 x 24 1/2 inches) After collapsed: Approximately 446 x 190 x 720 (w/ h/d) (17 5/8 x 7 1/2 x 28 3/8 inches)
Mass.	Approximately 7.8 kg (17 lb 3 oz)
Supplied accessories	AC power cord (1) Operation manual (1) Interface manual (1)

The design and specifications are subject to change without notice.